



# 議会だより

Vol.112



田子町の観光分野において重要な役割を担う

## 目次

- 1. みろく館オープン . . . . . P2～ P3
- 2. 定例会のあらし／議案 . . . . . P4
- 3. 一般質問 . . . . . P5～ P9
- 4. 委員会報告 . . . . . P10
- 5. 広報研修 . . . . . P12

# 光交流施設 オープン

桜が満開を迎える頃、旧民俗資料館は、田子町文化観光交流施設「みろく館」として4月21日プレオープン、27日にはオープンセレモニーが開催され新たな観光交流の拠点としてオープンしました。館内には、にんじくと黒にんにくをモチーフとした椅子や、田子町の四季を彩ったオブジェ等があり、来訪者の目を楽しませてくれます。

新しいワクワクを求めて多くの旅人が田子町を訪れ、歴史・文化・人に触れることで田子町の良さを十分に味わっていただくための拠点として、期待しております。

(尾形 憲男)



天井を見上げると歴史が広がる。



会議などができる十分なスペースがある。



記憶を楽しみ、思い出が甦る。



縁側でゆっくりとした時間を楽しむ。

# 田子町文化観

# “みろく館”

訪れた旅人は歴史と伝統が受け継がれた  
匠の技に触れ、新たな風とともに“今”を楽しむ



古民家にあつた「囲炉裏」を再利用したオブジエで、  
田子町のゆるキャラ「たっこ王子」が、皆さんを  
お出迎えます。

# 令和4年田子町議会定例会／臨時会

## 第2回定例会

令和4年第2回定例会  
が6月3日（金）から6  
月8日（水）までの6日  
間の会期で開催されまし  
た。

6月3日には諸般の報  
告、議案の上程・説明が  
されました。

6月7日の一般質問に  
は4名の議員が登壇し多  
岐にわたり活発な議論が  
かわされました。

6月8日には、議案の  
審議、陳情の付託、議員  
派遣の件、各常任委員会  
に係る所管事務調査の承  
認が行われました。

同日、追加日程として  
議案2件が上程され、可  
決となりました。

## 第2回臨時会

令和4年第2回臨時会  
が4月4日（月）に開催  
されました。議案1件が  
審議され同意されまし  
た。

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果
報告第2号	専決処分した事件の承認について（田子町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正）	原案承認 (賛8・否0)
報告第3号	専決処分した事件の承認について（田子町国民健康保険税条例の一部改正）	原案承認 (賛8・否0)
報告第4号	専決処分した事件の承認について（田子町介護保険条例の一部改正）	原案承認 (賛8・否0)
報告第5号	令和3年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書について	原案承認 (賛8・否0)
報告第6号	令和3年度田子町水道事業特別会計予算繰越計算書について	原案承認 (賛8・否0)
報告第7号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会令和4年度事業計画並びに令和3年度事業報告及び決算について	原案承認 (賛8・否0)
報告第8号	公益財団法人にんにくネットワーク令和4年度事業計画並びに令和3年度事業報告及び決算について	原案承認 (賛8・否0)
議案第27号	田子町暴力団排除条例の一部改正について	原案承認 (賛8・否0)
議案第28号	田子町議会議員及び田子町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について	原案承認 (賛8・否0)
議案第29号	田子町消防委員会委員の承認について	原案承認 (賛8・否0)
議案第30号	令和4年度田子町一般会計補正予算（第2号）について	原案承認 (賛7・否1)
議案第31号	令和4年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案承認 (賛8・否0)
議案第32号	令和4年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）について	原案承認 (賛8・否0)
議案第33号	令和4年度田子町水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案承認 (賛8・否0)
議案第34号	工事請負契約の締結について	原案承認 (賛8・否0)
議案第35号	令和4年度田子町一般会計補正予算（第3号）について	原案承認 (賛8・否0)

※議長は採決には加わりません。

# 一般質問

6月定例会では6月7日に一般質問が行われ、**4人の議員**が町政について質問をしました。  
内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。  
**TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。**

## ○欠端議員・・・P6

- ・鳥獣害について
- ・トキの放鳥について

## ○北田議員・・・P7

- ・地域共生社会について
- ・公共交通政策について
- ・町税の滞納者に対する行政サービスの制限について

## ○宇藤議員・・・P8

- ・コロナ禍における農業支援策について
- ・観光資源の保全・改修について

## ○山崎議員・・・P9

- ・教育について
- ・医療について
- ・林業について
- ・諸事務、事業の見直しと改善について

※通告書に基づき、質問事項を全て載せた一覧になります。  
次ページからは要約した内容を掲載しています。

## 一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

# 鳥獣害対策への 人員確保が急務

## 鳥獣害の増加!!

実施、町全体で積極的  
に取り組んでいる。

**質** イノシシの分布状  
態が田子町は飛び  
抜けて多く、他町村は  
少ない。当町が多いこ  
とをどのように考えて  
いるか。

**質** イノシシの勉強  
の為、他県へ人員  
を出張させる考えはあ  
るか。

**答** 目撃件数に伴って  
被害を受ける件数  
も年々増加傾向にある。  
農作物の被害のみなら  
ず、人への被害も出て  
くる恐れがあるので、  
駆除対策は喫緊の課題  
であると考えている。  
駆除を行う人的な関わ  
りを増やしていくため  
に広く町民へ免許の  
取得やハンター資格取  
得のため補助事業を実

**質** イノシシが回遊し  
ながらエサを探す  
習性があることから、  
実際の行動に合わせた  
対策をした方が効果的  
と考え、専門家を当町  
に招き、被害現場での  
研修会を毎年計画して  
いた。限られた人員の  
出張を行うのではなく、  
現地に合った対策を多  
くの方に見ていただく  
ため今後も当町での研  
修会を計画していき  
たい。

**質** 駆除しそこねると  
近隣へ逃げてしま  
うので、近隣町村と連  
携する考えはあるか。

**答** 近隣町村で共通の  
話題として議論し  
ているので今後も進め  
ていく。

## 「トキ」新たな観光 の取り組みへ

**質** 国が特別天然記念  
物のトキを放鳥す  
る自治体を募集してい  
る。当町でも手を上げ  
る考えはあるか。

**質** 環境省が示した選  
定の取り組み等の  
要件は、浅い水辺があ  
り、年間を通して水生  
生物や昆虫などのエサ  
が確保できること等と  
し、実際に生息してい  
る佐渡島の取り組み事  
例を参照すると農業や  
林業へ大きな影響があ  
り鳥類のため、移動も  
広範囲となり広域的な  
取り組みとして考えな  
ければならず、田子町  
全体で意識の醸成に相  
当な期間が必要となる  
ため、困難であると考  
えている。

**質** 貴重な鳥である  
とともに観光に役立  
てたいと思う。なん  
とか町民の理解を得て  
取り組めないか。

**答** 全国に募集してい  
るが、鳥の生態が  
田子町に合うかが一番  
重要で、引き受けてか  
ら環境が合わずに近隣  
へ移動したり、死んで  
しまう可能性もある。  
様々な要因のあるなか  
で理解を得るには長期  
間が必要となる。



イノシシなどの野生鳥獣から農作物を守るために、農家のできる対策について研修を行います

全国的にも問題とな  
る一方、観光資源の  
一つ「ジビエ」とし  
て活用している自治  
体もある。どちらに  
しても人員の確保が  
最優先事項となる

**質** 将来の環境を見据  
えて前向きに取り  
組んでもらいたい。

**答** 自然観光を主軸に  
してきたが、人を  
中心に考え、人口増加  
につなげていきたいの  
で、できる限り含めて  
検討していきたい。



※農林水産省HPから抜粋

限られた地域にしか  
生息しておらず、遠  
方からも観測のため  
観光客が訪れる。希  
少性の高さ故に管理  
がとてむずかしい。

**質** 現状から考え現代  
の田子町には無理  
だと考えています。ト  
キを優先して他に負担  
が増え縮小するとな  
ると理解は得られない。

**質** 当町でも昔生息し  
ていた情報もある。  
自然環境も含め可能性  
は充分あると考えるが、  
観光の面からもチャレ  
ンジしてほしい。

**答** 現状から考え現代  
の田子町には無理  
だと考えています。ト  
キを優先して他に負担  
が増え縮小するとな  
ると理解は得られない。



北田 騰 議員

### 田子町型地域共生社会の実現へ

## 課題抽出から解決へ 向けた取り組み

え地域の課題解決に取り組んでいきます。

**質** 令和3年度に取り組んだ内容と、これからどのように取り組んでいくのか。

**答** 高齢者の移動に關する課題や、介護施設入所の住民票の取り扱い等、5つの専門部会によって、地域の課題について協議を行い、個人情報保護に關する理解を深めるための研修会を開催しました。これからは、年次計画を立て、進捗を共有できる会議を毎月開催し、課題の抽出や住民ニーズの調査を実施できるよう、体制を整

なお、青森県のモデル事業に採択されており、2カ年で機能向上に向けた研修会や、人材育成を目的とした研修会を計画しています。

### 地域に根ざした交通サービスの展開を

**質** 公共交通政策の現状と課題、解決に向けた方向性は。

**答** 効率性・利便性・持続性を最大限に考慮し、経済的負担の軽減、住民ニーズに合わせて停留所の新設など、毎年のように改善を図ってきました。しかし、利用人数はピー

ク時の半数となり今後は住民の利便性を一番に考え、運行ルートの見直しやフリー乗降区間の拡大、不便なく通学や通院するための時刻表見直しなどを行いながら話し合いを重ね、より良いサービスに繋がっていきます。



各自治体により様々なケースが考えられ、検討課題は多岐にわたる。

**質** 全路線をフリー乗降にできないか。

**答** 安全を確保できる区間では可能だが、バス会社とともに考えていく上で様々な安全面での理由で、全路線は難しい。

**質** デマンド交通はどう考えているか。

**答** 田子町に必要なサービスは何かを協議していきたい。

### 町税徴収の様々な課題

**質** 収納率向上と税負担の公平性を確保するため、誠実性を欠く納税者に対し、行政サービスを制限する問題について町長の所信は。

**答** 町税の滞納者に対する行政サービス制限については、入札参加資格申請、指定管理者の指定、若者定住促進住宅への入居、各種補助金等の交付や町奨学資金貸付に対し、町税に未納がないことを付し実施している。行政サービスの制限や条例等の制定については、内容や対象者について慎重に議論を重ね検討していきたい。

**質** 未納に対する制限に町からの委員選任も含めてはどうか。

**答** 適応させるには様々なクリアしなければならぬと考えるが、委員は各部門において秀でた人を選任している為、効力等も含め十分検討していきたい。

**質** 条例の制定についての現状は。

**答** 全国の情報を集めている。しかし、当町としては、納税の意識を高めて、お願いをしていく形にしたい。



町税は大切な町の財源の一つである。



宇藤 大介 議員

コロナ禍における

重要性

**質** 農家経営安定緊急対策事業（水稲・野菜等）の事業概要を明確に示せ。

**答** 事業概要は、水稲では、令和4年産として購入した種籾代金の10分の10を補助するもので、品種の指定などはない。また、野菜では、町が産地化を目指す品目を対象とし、令和4年産として購入した種や苗代金の3分の1を補助するものです。

**質** 事業の申請期間・申請手続き・支払

# 今!! 田子町の農業者に必要な支援を推し進める政策は何か

い時期等の子細は。

**答** 水稲では、申請期間は4月1日から6月30日までとし、申請手続きは、町内業者から購入した方に関しては、申請書に申請内容が印字済みとなっており、申請者は内容を確認後に問題がなければ、請求書に押印をして終了となります。しかし、町外からの購入があった場合など事前データがない方については関係書類の添付と確認が必要となる。支払時期については、4月15日までに申請のあった方は、4月末まで支払いをし、その後は半月ごとの締切と支払いを行います。また、

野菜では、水稲補助金給付が終了した7月から申請受付を実施したいと考えているが、水稲と違い、品目ごとの購入データがなく、証明する書類の添付や内容のチェックなど手続きが煩雑となる恐れがあることから、農業者



農業者への迅速な対応が求められる

の申請軽減を図る方法を検討しています。

**質** 野菜苗についての補助はこれからデータを取って進めていくと思うが、現時点で決まっていることは。

**答** 現在も検討中です。現時点で明確には決まっていない状況です。

**質** 肥料高騰対策は。

**答** 様々な方向性に沿った対策があるが、これから展開していくのは保証ではなく支援であることを前提として協議を進めていく。

## 町民の協力が必要

**質** 町最大の景勝地である、みろくの滝の整備・改修を期待するが町長の認識と見解は。

**答** 要望を受けて管理棟に入るスロープの設置とトイレまでのバリアフリー化を実施しており、遊歩道のバリアフリーについても昨年度、検討しているが国有林内の工事となるため国と協議し、今年度策定する観光振興計画に盛り込み必要性和内容を精査し優先順位をつけて計画的に取り組んでいく。

**質** 夏坂集落からみろくの滝までのみろり・滝現地を自治会の方々に保全・整備をしていただいている。大変ありがたい感謝し

ている。管理棟ではみろくの滝を愛する会の方々が観光客を、もてなす等、住民の善意と尽力によって景観は保たれている。町当局からも最大級の感謝と労いの意を表していたきたい。みろくの滝の修繕と改修には莫大な予算が必要だが、町長の認識と意見は。

**答** 昨年度の検討項目に上げている。これからバリアフリー等、どこまで必要かを協議し精査していきたい。また、国有地でもあるので、手続き等に時間がかかるのですぐにとは難しいが、取り組んでいきたい。





山崎 美代志 議員

### 町の教育体制は

**質** 小・中一貫教育への取り組みと方針は。

**答** 学力向上と子ども達の状況をお互いに理解するため、協議や情報交換を行う小学校連携部会を毎年開催し、小中学校教職員が相互に授業参観を実施し、学習指導・生徒指導の状況、家庭学習や各教科の理解度の把握等の情報交換を通して密な連携を目指している。来年度からは小学校も1校となることから、交流を更に進めて「二貫教育」という仕組みにこだわることなく連携部会の取り組みと

## 未来を担う子ども達へ 力強い支援を

ともに連携した教育を進めていく。

**質** 三戸町では専門家を呼んで研修会を開催するなど、様々な取り組みをしている。田子町ではどうか。

**答** 小・中の9年間ならではの取り組みを考えなければならぬ。小・中の単体で考えるならば、田子町も十分取り組んでいる。

### 医療環境の現状は

**質** 訪問看護事業の現状について伺いたい。

**答** 運営状況は、常勤看護師2名の配置

に加え、外来看護師3名の兼務により運営している。依然として人員不足ではあるが、サービスの低下とならないよう医療従事者の確保に努め、どうあるべきか、今後も検討を重ねていく。

**質** 三戸町では専門家を呼んで研修会を開催するなど、様々な取り組みをしている。田子町ではどうか。

**答** 小・中の9年間ならではの取り組みを考えなければならぬ。小・中の単体で考えるならば、田子町も十分取り組んでいる。

### 特別養護施設・介護老人保健施設の現状について伺いたい。

**質** 特別養護施設・介護老人保健施設の現状について伺いたい。

**答** 特別養護老人ホームについては待機者26名となっており、介護老人保健施設につ

いてはグループホームや他の介護老人保健施設等に入所の方も重複して含まれているため、自宅で生活されている方などの待機者は4名となっている。

**質** 老健等の入所状況をどう考えているか。

**答** 高齢者の生活を支えていくことを第一に考えて、活動できるうちは本人の意向を尊重しケアしながら必要な方へ必要なサービスを展開していく。

### 的確な事業の見直し求められる

**質** 高齢者を対象とした予約型乗り合いタクシーの実証実験をする考えはないのか。

**答** 将来どのような住民移動サービスが相応しいのかについて

は、町が現在進めている地域共生社会の住民生活支援専門部会において既に協議を進めている状況であり、近隣の自治体が行う予約型乗り合いタクシー事業についても多くの情報を収集しており、導入前の調査検討には相当の時間が必要であると認識している。実証実験については、今後の地域公共交通の選択肢の一つとして位置づけ、引き続き情報収集に努め十分な協議を行った上で推進していきたい。

**質** 各集落の集会施設などの維持・管理費に対して町からの助成金の見直しする考えは。

**答** 町内の集会施設管理は指定管理者制度を用いて町が自治会などと5年間の契約を交わし運営している。老朽化による大規模改

修や消防施設などの修繕は、住民課の事業として直接実施して、施設ごとに毎年発生する光熱水費や備品購入、軽微な修繕などに係る経費については、2分の1を自治会などに補助金として交付している。また、補助金の要件については運営に負担がかかりすぎないように、内容を見直しながら進め、今後も運営が困難になることが合った場合は相談してほしい。



全国的な課題ではあるが人口減少に伴い、住民環境整備・環境維持が困難になっている。周辺地域との繋がりが必要不可欠となる。

# 議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員  
北田騰委員 欠端則夫委員

## 協議

○実施日 4月4日  
令和4年4月4日  
開会の第2回臨時会  
の議事日程について。  
○実施日 5月24日  
令和4年6月3日  
開会の第2回定例会  
の議事日程について。

## 議会広報編集委員会

○実施日 3月28日  
議会日より第11  
1号の内容確認、誤  
字・脱字・レイアウ  
トについて校正を行  
いました。

○実施日 4月11日  
最終校正を行い、  
令和4年4月21日に  
議会だよりを発行い  
ました。

○実施日 5月25日  
議会だより第11  
2号の構成、スケジ  
ュールについて協議  
し、担当者を割り振  
り、順次業務を行っ  
ていくことにいたし  
ました。

# 総務・文教常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 椛本義見委員  
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 5月10日

## 教育課

町立小学校統合について、統合準備  
委員会を設置し関係機関と連携し協議  
を行い、来年度の統合に向けて準備を  
進める。

## 総務課

田子町消防委員会委員の任期満了や  
異動に伴い、消防関係者2名と学識経  
験者1名について議会の承認を求める  
ため議案の上程をする。

## 政策推進課

第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジ  
ョンによる新規事業や新型コロナウイルス  
感染症対応地方創生臨時交付金の実  
施計画について説明があった。

## 住民課

コミュニティバスに係るフリー乗降  
区間の運行状況について報告があり、  
乗車人数及び利用状況については次回  
の常任委員会費おいて報告する。

## 税務課

税の徴収状況については、昨年度に  
比べて一般税、国民健康保険税ともに  
減となっており、今後も引き続き徴収  
対策を強化していく。

また、ふるさと納税の令和3年度実  
績では、寄付件数、寄附金額ともに前  
年度に比べやや減少しているが、今後  
も返礼品の拡充や寄付サイトの充実を  
図り、町のPRに努めていく。

# 産業・民生常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 蹴揚清人委員  
北田騰委員 澤口勝委員

○実施日 5月11日

## 診療所及び老健

非常勤医師として4月からは皮膚科  
診療を再開し、専門的な診療支援を受  
ける。

## 地域包括支援課

新型コロナウイルスワクチン追加接  
種業務について、3回目の接種状況や  
今後の接種計画などについて説明があ  
り、4回目については60歳以上と基礎  
疾患を有する方に対して、6月末頃の  
接種開始に向けて準備を進めている。

## 住民課

地域ささえあい商品券配布事業につ  
いて、生活支援と地域経済の活性化を  
目的に、全町民に対して1人1万円分  
の商品券を配布する。

## 建設課

町営住宅について、長寿命化計画を  
基に長期計画に反映させ、工事につい  
ては、屋根の塗装や維持管理修繕を予  
定している。

## 産業振興課

農業後継者対策では事業内容の変更  
に伴い、現在は事業の周知や相談受付  
を行うとともに、新規認定に向けた要  
望調査を進めている。

## 農業委員会

農地移動のあった件数と面積につい  
て説明があった。

## 商工振興課

イベント状況についての説明があ  
り、コロナ感染症の状況を見ながら開  
催方法等について協議していくと説明  
があった。



令和4年6月11日・12日、総務・文教常任委員会視察で千葉県多古町へ行ってまいりました。多古町と田子町はこれまで様々な交流を行い、とても良い関係を築いてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響を受け、交流を見合わせていましたが、今年度から十分な感染症対策をした上で開催される“ふるさと多古町あじさい祭り”へ、多古町議会からご招待を受け、我が常任委員会で施設視察研修を兼ねて訪問してまいりました。多古町は子育て世代からの支持を受け“住みたい田舎”・“全国「町」子育て世代が住みたい田舎”部門で上位を獲得しており、少子高齢化が進む田子町として見習う点が多々ありました。今回、得た経験を今後の常任委員会活動や子育て世代から選ばれる田子町への、糧としたいと思います。(欠端 則夫)

医療機関に併設した病児保育施設や商業施設との距離が近く、机上の空論ではなく、子育て世代の意見をしっかりと反映させ、未来を担う子どもたちを最優先に考えた町政運営がされ、議会としても子どもたちとの交流を大切にしている。



道の駅多古あじさい館では、様々な特産物を扱っており、地元の方や観光客で賑わっていました。

# 令和4年度町村議会広報研修会

令和4年5月25日、青森市で開催された町村議会広報研修会へ参加してきました。「住民に読まれ議会活動が伝わる－議会広報の基本と編集－」と題して、これからの議会広報のあり方と、役割の重要性について学び、県下町村の実際に発行されている広報誌を用いて講師から改善点についてお話を伺うことができました。“議員の自己満足で構成せず、読み手に立った構成を意識し、時代の流れを感じ取ることができなければならない”これを胸に今後の広報活動へ生かしていきたいと思います。(尾形 憲男)



時代の流れをふまえて、各町村に合った改善点を詳細に説明。

議会だよりのあり方が全国的にも変化してきて興味がある方へ向けるものではなく、若い世代に興味を持ってもらい議会議員活動について知ってもらうことを目的とし、初めて読んだ住民へも伝わる紙面構成を考える事が最重要視されている。



## 編集後記

暑い日が続いております。コロナ禍と向き合い3年目の夏を迎えました。町民皆様の御苦悩もいかばかりかと拝察いたします。報恩感謝という言葉があります。受けた恩義や徳に対して感謝し、報いることとされています。コロナとの長い闘いがちですが、日々思いやりと感謝の気持ちをもち続けたいものです。  
(宇藤 大介)

### 発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(112号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 尾形 憲男

委員 欠端 則夫

委員 北田 騰

執筆協力

山崎美代志